

# Close up Interview

クローズアップインタビュー

株式会社キャリア・ママ

代表取締役 堤 香苗 氏

女性のキャリアと社会をつなぐ



1995年4月、東京・多摩ニュータウンで産声を上げ今年で設立25周年を迎えるキャリア・ママ。女性の社会進出に大きな貢献をしてきたが、四半世紀を経て一つの転換点を迎えている。

聞き手 帝国データバンク東京西支店 情報記者 車克成

車 キャリア・ママの設立経緯と、ビジネスモデルを教えてください

堤 結婚して東京・多摩ニュータウンで暮らしていたのですが、初めての子どもを授かり育児に追われていた1995年頃にママ友数人で育児サークル「PAO」を立ち上げました。「PAO」は産後の母親が主役となれる場所を目指したもので、イベントの企画・運営などをしていました。「PAO」のメンバーが約1500名になってメンバーから「また働きたい」との声が多く聞かれることもあり、任意団体として「キャリア・ママ」を結成しました。この1500人のネットワークを生かすべく各方面へ営業したところ、ある広告代理店からマーケティング事業を受注しました。

以後、事業領域を拡大し①マーケティング事業としてアンケートやモニター、プロモーションなど②アウトソーシング事業としてデータ収集・入力、ライティング、コール電話、採点など③就労支援などを、大手民間企業や官公庁、教育機関などから受注しています。会員の登録人数は約11万人で、常時稼働している会員は全国約3000人になります。

車 これだけ沢山の女性を組織化するのは素晴ら

しいことだと思います。女性活用に悩んでいる多くの企業にアドバイスをお願いします。

堤 あくまでも傾向としてですが、女性は他者承認を求めて、「〇〇さん派」「××さん派」など派閥を作りたがります。関西でいえば「よう知らんけど」みたいな曖昧な状態にしてしまう男性とは異なります。「分かり合う必要はないが否定はしない、ただし目指すゴールは一緒」のような状況を設定するのが良いと思います。

また、女性は「今ある力の範囲内で完結したい」傾向もあるので、昇格は慎重にしなければいけません。昇格とは「今は力が無くてできないけどチャレンジする」人に与えるものだからです。

女性には「最終責任は持たせず、発言は自由に」させることも有効です。プロジェクト毎に任せたり、「～～係」を作ったりして活躍の場を与えれば、昇格させずとも他者承認の欲求は満たされます。

車 多くの企業で役に立つようなご指摘・ご助言だと思います。

ところで、アメリカでは第2次トランプ政権が発足したこともあり、「BRO CULTURE」（俺たち兄弟！）的な風潮がますます強まりそうで

す。シリコンバレーのテック企業にも、男性優位・女性蔑視の気風があります。日本にも蔓延してきそうですが、どのようにお考えですか。

堤 日本の企業・官公庁でも、役職が上位になるほど女性の比率が少なくなる傾向があるのは間違いありません。女性が活躍するには、多様性を確保する場所が必要です。職場併設型の保育施設の設置や、女性起業家への支援、在宅ワークも手段の一つです。

例えば、キャリア・ママが入居している大型商業施設「ココリア多摩センター」には、弊社が運営している、保育室を併設したコワーキング施設「CoCoプレイス」があります。ここでは、仕事をしながらでも子どもを見守ることができます。

また多摩市認定ビジネス支援施設・東京都認定インキュベーション施設ですので、起業を考えている方への支援も可能です。利用者には男性の方も多くいらっしゃいます。

車 在宅ワークでは、生成AIの導入研修の業務も受託するそうですね。生成AIに女性からの視点がビルトインされれば、多様性の確保の一助になるかもしれませんね。

堤 企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）を進めるコンサルタント会社と業務提携しました。「生成AIの教師役」は、今までにない全く新しいビジネスです。キャリア・ママの発展につながるかもしれません。

車 コロナ禍では、仕事のなくなったシングルマザーの方々への支援もしていましたね。

堤 シングルマザーの方は、飲食業やサービス業に従事しているケースが多かったので、コロナ禍の直撃を受けました。「ひとり親家庭在宅就業プログラム」などを自治体から受託し、シングルマザーの会員の割合は、1割に迫る勢いです。

車 しばらくお休みしていた『届かなかったラブレター』企画が7年振りに再始動しました。内容を教えてください。

堤 『届かなかったラブレター』は2002年にスタートしました。愛する人への思いを綴ったラブレターを募集し、2018年までに2万通を超える応募がありました。小学校のクラスで応募してきたケースもあります。母親や友人へのラヴ



CoCoプレイス入口

レターが多かったですかね。

文芸社からは『届かなかったラブレター』シリーズ5冊が出版されています。映画化もされ、常盤貴子さんの主演で『引き出しの中のラブレター』が2009年に公開されています。FMラジオJ-WAVEでは毎週土曜日7時50分から10分間『LIFEPLAZA PARTNERS LETTERS TO YOUR PRECIOUS』で放送され、radikoでも配信されています。

ぜひ応募してください。

本日はありがとうございました。

取材を終えて

堤社長は神戸女学院中学・高校の出身。同校の標語「愛神愛隣」を軽やかに実践しているように見える。前職がフリーアナウンサーだったこともあり、テンポ良い会話は人を逸らさない。

第5回女性起業家大賞など受賞歴も豊富であり、今の日本のキーウーマンの一人であるのは間違い無い。

株式会社キャリア・ママ  
東京都多摩市落合1-46-1  
ココリア多摩センター5階